

17:13 【主】はすべての預言者とすべての先見者を通して、イスラエルとユダに次のように警告された。「あなたがたは悪の道から立ち返れ。わたしがあなたがたの先祖たちに命じ、また、わたしのしもべである預言者たちを通してあなたがたに伝えた律法全体にしたがって、わたしの命令と掟を守れ。」

17:14 しかし、彼らはこれを聞き入れず、彼らの神、【主】を信じなかった彼らの先祖たちのように、うなじを固くした。

17:15 彼らは主の掟と、彼らの先祖たちと結ばれた主の契約と、彼らに与えられた主の警告を蔑み、空しいものに従って歩んだので、自分たちも空しいものとなり、【主】が倣ってはならないと命じられた、周囲の異邦の民に倣って歩んだ。

17:16 彼らの神、【主】のすべての命令を捨て、自分たちのために、鑄物の像、二頭の子牛の像を造り、さらにアシェラ像を造り、天の万象を拝み、バアルに仕えた。

17:17 また、自分たちの息子や娘たちに火の中を通らせ、占いをし、まじないをし、【主】の目に悪であることを行うことに身を任せ、主の怒りを引き起こした。

17:18 そのため【主】はイスラエルに対して激しく怒り、彼らを御前から除かれた。ただユダの部族だけが残った。

17:19 ユダも、彼らの神、【主】の命令を守らず、イスラエルが取り入れた風習にしたがって歩んだ。

17:20 そのため【主】はイスラエルのすべての子孫を蔑み、彼らを苦しめ、略奪者たちの手に渡し、ついに彼らを御前から投げ捨てら

れた。

17:21 主がイスラエルをダビデの家から引き裂かれたとき、彼らはネバテの子ヤロブアムを王としたが、ヤロブアムはイスラエルを【主】に従わないように仕向け、そうして彼らに大きな罪を犯させた。

17:22 イスラエルの人々は、ヤロブアムが行ったすべての罪に歩み、それから離れなかったのだ。

17:23 【主】は、そのしもべであるすべての預言者を通して告げられたとおりに、ついにイスラエルを御前から除かれた。こうして、イスラエルは自分の土地からアッシリアに引いて行かれた。今日もそのままである。

ユダ王国もイスラエル王国も、エジプトとアッシリアという大国に挟まれて、常にどちらに付くのかという選択に迫られる状況でした。本来は主に付くという信仰の大前提のもとで、政策を決まるべきでしたが、彼らは神を捨てて大国に従ってしまったのです。

その結果はこの14説からあるような罪深い墮落でありました。彼らは大国など有力な異邦人にならって、偶像邪教を取り入れてこれに仕え、自分たちでも偶像を造り、「息子や娘たちを火の中にくずらせ」、生きたままで焼き殺して異教の神にささげたのです。

「主の怒り」は当然のことです。その結果として「イスラエルは自分の土地からアッシリヤへ引いて行かれた」のでした。主のさばきが厳しいというよりも、これまで忍耐された主のあわれみに驚くほどです。

私たちは彼らほどではない…と思いたいのですが、小さな妥協から大きな不信仰になっていったこと、過去に学んでも神の視点で見ずに人間的な解決しか考えなかったこと、1人1人が王や社会情勢に流されてしまっただけで信仰の判断ができなかったことなどを考えれば、警戒すべきことは多いの

ではないでしょうか。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

